

○ 理想の学校経営に向けて

中学校は、「希望を叶える場所」「希望を叶えるために自分を鍛える道場」でありたいと考えます。そのために、生徒や保護者の「希望」、地域の願いが実現できるように全力を尽くすことが必要だと考えます。

教師は生徒の「元気」「やる気」「根気」を引き出し、生徒と共に学び、共に成長しつづける存在でなければいけないと考えています。

1 塾に頼らなくても良い、質の高い授業作りを目指します

塾に通っている生徒はなかなか減りません。その現実を踏まえて、授業の時間内に授業内容をどれだけ理解させることができたかで、授業を評価します。授業が終わった段階でどれだけのことかわかったか把握できるように、小テストなどを行って、理解が不十分だった生徒には、補習を行ったり、課題を与えて理解できるようにします。もし理解度が低ければ再度同じ授業を行うこともあります。

生徒には、授業開始の1分前に着席するように指導します。次の授業の準備をしてもらうためです。担当教師は、1分前に教室に行き、出欠や忘れ物の確認を行い、50分間の授業時間を確保できるようにします。時間を守ることで、生徒との人間関係が良くなるように努力します。

26年度から始めた家庭学帳は定着しつつあります。特に2・3年生はこれまで90パーセント以上の提出率を保ってきました。さらに家庭学習の質と量を高めるために、教師による点検の質も高めます。ご家庭でも自分の子どもがどのように学習しているのかを確認してください。また、毎日提出できた生徒とノートの内容が良い生徒に対しては表彰すると共に、文化祭で展示するなど、意欲を引き出す工夫をしていきます。

さらに、4月17日の文科省学習状況調査・4月24日の区学習状況調査・7月5日の都学力状況調査に向けて、5教科において、過去問や練習問題など、5～10時間程度取り組みます。特に前年度の2～3月に年間指導計画にきちんと位置づけて指導します。

2 揺るぎない生活指導でクワトロゼロを目指します

昨年の本校の状況は、不登校生徒がほとんどいない、いじめと認知された件数はゼロ、服装違反等で指導された生徒もゼロでした。また、学力を支える体力を鍛えるために食育を充実し、残菜が1%台となっています。この現状から、「いじめ・不登校・校則違反・残菜ゼロ」を目指します。これは、生徒の自覚を促すとともに、当たり前前前のことが当たり前前にできる学校を目指すことでもあります。保護者のご理解とご協力をお願いします。

また、25年度から、スマホや携帯電話による、SNSの使用を禁止しています。しかしながら、それらの使用はなかなか減りません。保護者の皆様が買って与えているものですから、ぜひフィルタリングを行って、実際に使用できなくしていただきたいと思います。ご協力をお願いします。

### 3 教職員の組織力向上のために

職員室のオフィス化に取り組みます。教師の仕事の質と能率を高めるために、ICT を駆使して、紙文書の削減をしていきます。また、現在でも行っている様々な生徒や地域の情報の共有化もさらに推し進めます。机の上には PC だけという職場となっています。今年から、職員会議は iPad を活用してペーパーレスにします。

学年担任制を導入して3年が経ちました。このことにより、学年教師の団結が生まれ、生徒をより多くの目で見守ることができています。また、いい意味での学年間の競争意識が芽生えてきました。そのことにより、各学年の特色を生かした指導ができつつあります。今年も引き続き、学年担任制の良さを生かして、様々な場面で個々の教師の活躍の場を充実させます。

教師の指導力向上のために、全員が年1回以上、都内の優れた学校の実践に学び、貪欲に吸収できるようにします。その成果を、伝達講習することで研修の充実に努めます。職員会議後の時間を有効に使い、全員の指導力向上につなげます。

### 4 ○○で勝負する教師を目指します

○20代は子どもで勝負する教師→生徒が教師の指導によって良い方向に変容する。生徒が変容しないのは、教師の責任です。

○30代は保護者で勝負する教師→生徒が変容することで、保護者が学校で行っていることに信頼を寄せただけになります。信頼される教師を目指します。

○40代は教師で勝負する教師→豎川中学校も今年はたくさんの若手教員が転入してきました。それらの若手教員を育成することによって学校を活性化させます。

50代は地域で勝負する教師→PTA や育成委員会、学校運営連絡協議会、学校支援地域協力会の皆様との連携の中心に50代の教師が中心となって、地域と連携を進めて参ります。

### 5 昨年度までの取組をご紹介します

#### ① 学力向上のために

○各種検定試験等に積極的に実施し、3年生で漢検・英検・数検各3級取得以上を目指します。合格した生徒は、トリプルスリー賞として副賞を付けて表彰します。

○放課後すみだ塾や長期休業中の補習教室を充実させます。

○入学当初から適切なキャリア教育を行い、進路実現を図ります。

#### ② 生活指導のさらなる充実のために

○生徒が3日間休んだら、家庭訪問して様子を確認します。

○暴力や器物破損、喫煙や飲酒等の非行行為があったときは、その日の内に家庭に連絡し、謝罪が必要ならばその日の内に済ませます。

○いじめに関する調査を年5回実施します。また、保護者向けの調査も年3回行います。

○ルールを守れない生徒に対して、全教職員が同じ指導を行います。

#### ③ 学校からの発信を定期的に行います

○保護者会のお知らせや月ごとの行事予定表は必ずご確認ください。

○毎月の学校便り・毎週の学年便りに必ず目を通してください。

○ホームページに行事や活動の様子を掲載しますので、ぜひ閲覧してください。